

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-

Aコース (為替ヘッジあり) Bコース (為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第27期

(決算日 2025年11月28日)
(作成対象期間 2025年5月29日~2025年11月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式		
信託期間	無期限 (設定日: 2012年5月30日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税 込 分 配 金 円	期 中 騰 落 率 %	(参考指数) 円	期 中 騰 落 率 %			
23期末 (2023年11月28日)	12,516	400	6.5	39,885	8.8	95.0	—	百万円 684
24期末 (2024年5月28日)	12,890	700	8.6	46,736	17.2	94.6	—	656
25期末 (2024年11月28日)	13,963	950	15.7	53,102	13.6	91.2	—	683
26期末 (2025年5月28日)	12,910	0	△ 7.5	52,663	△ 0.8	91.7	—	558
27期末 (2025年11月28日)	13,704	30	6.4	60,852	15.5	97.8	—	558

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

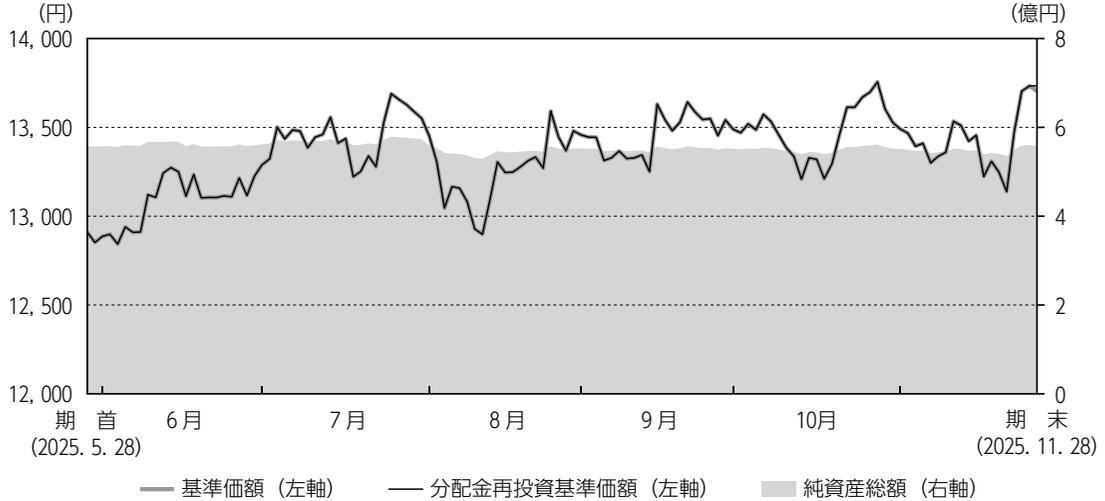
(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] およびCDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,910円

期末：13,704円 (分配金30円)

騰落率：6.4% (分配金込み)

■ 基準価額の変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2025年5月28日	円	%			%	%
	12,910	—	52,663	—	91.7	—
5月末	12,887	△ 0.2	52,581	△ 0.2	92.6	—
6月末	13,289	2.9	54,947	4.3	96.4	—
7月末	13,452	4.2	56,667	7.6	96.2	—
8月末	13,457	4.2	57,952	10.0	95.3	—
9月末	13,489	4.5	59,419	12.8	98.8	—
10月末	13,491	4.5	60,888	15.6	97.1	—
(期末) 2025年11月28日	13,734	6.4	60,852	15.5	97.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 5. 29 ~ 2025. 11. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、堅調な雇用統計や米中通商協議の進展期待を背景に、上昇しました。2025年7月以降は、米国が各国に課す関税率について通商交渉が進展したことに加え、9月半ばに決定されたF R B (米国連邦準備制度理事会) による利下げなどが、株価の上昇を促しました。10月後半にかけては、成長期待が高まったA I (人工知能)・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、続伸しました。11月に入ると、政府機関の一部閉鎖や利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月後半には利下げ期待が再度高まったことを好感し、反発して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2025. 5. 29 ~ 2025. 11. 28)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

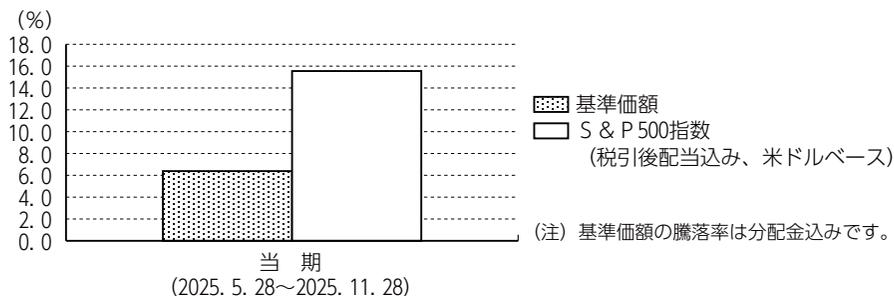
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2025年5月29日 ～2025年11月28日	
当期分配金(税込み)	(円)	30
対基準価額比率	(%)	0.22
当期の収益	(円)	30
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,986

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 54.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1,370.91
(d) 分配準備積立金	2,590.74
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,016.00
(f) 分配金	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,986.00

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 5. 29~2025. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	128円	0. 959%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 356円です。
(投 信 会 社)	(73)	(0. 543)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 009	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 009)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	4	0. 031	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 018)	スピンオフに係る税金支払、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	133	0. 999	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

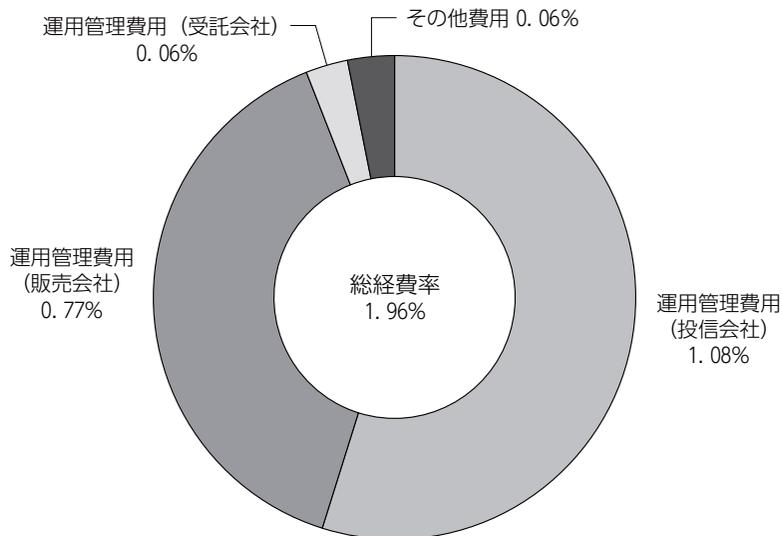
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,150	21,000	9,480	94,890

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,152,013千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,653,286千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.55

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	58,910	51,580	562,957

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	562,957	98.7
コール・ローン等、その他	7,236	1.3
投資信託財産総額	570,193	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.63円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,209,664千円)の投資信託財産総額(6,261,916千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,098,317,591円
コール・ローン等	5,436,085
ダイワ米国厳選株マザーファンド (評価額)	562,957,688
未収入金	529,923,818
(B) 負債	539,424,653
未払金	532,871,430
未払収益分配金	1,223,525
未払信託報酬	5,314,421
その他未払費用	15,277
(C) 純資産総額 (A - B)	558,892,938
元本	407,841,820
次期繰越損益金	151,051,118
(D) 受益権総口数	407,841,820口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,704円

* 期首における元本額は432,761,824円、当作成期間中における追加設定元本額は261,803円、同解約元本額は25,181,807円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,704円です。

ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイ– Aコース (為替ヘッジあり)

■損益の状況

当期 自2025年5月29日 至2025年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,896円
受取利息	7,896
(B) 有価証券売買損益	38,925,568
売買益	99,732,802
売買損	△ 60,807,234
(C) 信託報酬等	△ 5,370,402
(D) 当期損益金 (A + B + C)	33,563,062
(E) 前期繰越損益金	62,799,821
(F) 追加信託差損益金	55,911,760
(配当等相当額)	(49,932,419)
(売買損益相当額)	(5,979,341)
(G) 合計 (D + E + F)	152,274,643
(H) 収益分配金	△ 1,223,525
次期繰越損益金 (G + H)	151,051,118
追加信託差損益金	55,911,760
(配当等相当額)	(49,932,419)
(売買損益相当額)	(5,979,341)
分配準備積立金	106,654,190
繰越損益金	△ 11,514,832

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,623,057円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,216,178円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	55,911,760
(d) 分配準備積立金	105,661,537
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	163,789,475
(f) 分配金	1,223,525
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	162,565,950
(h) 受益権総口数	407,841,820口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
23期末 (2023年11月28日)	17,029	1,400	15.2	74,318	14.5	95.3	—	3,493
24期末 (2024年 5月28日)	18,158	2,000	18.4	92,248	24.1	96.4	—	3,977
25期末 (2024年11月28日)	19,117	1,700	14.6	101,363	9.9	92.8	—	5,442
26期末 (2025年 5月28日)	17,112	0	△ 10.5	95,418	△ 5.9	94.7	—	4,653
27期末 (2025年11月28日)	20,003	150	17.8	119,874	25.6	97.0	—	5,188

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

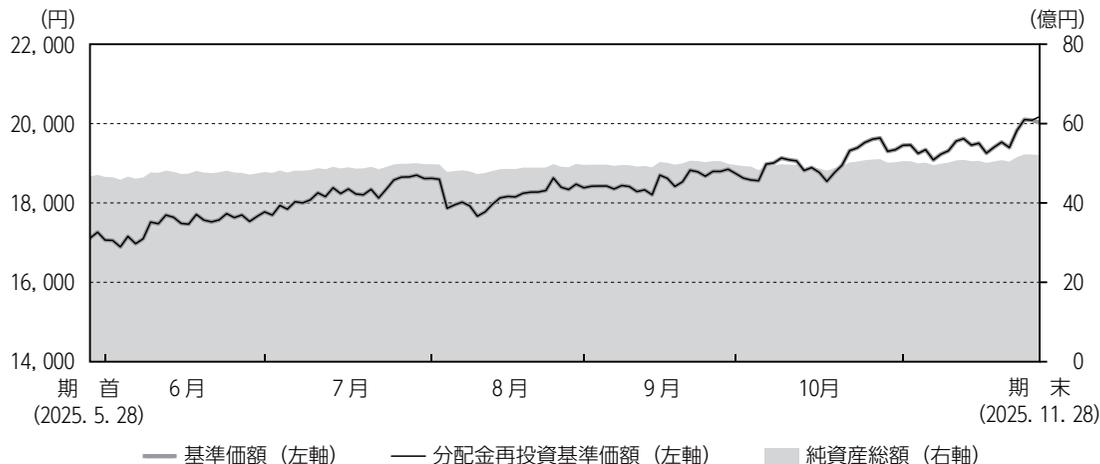
(注 6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：17,112円

期末：20,003円 (分配金150円)

騰落率：17.8% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇 (円安) したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年5月28日	円	%		%	%	%
	17,112	—	95,418	—	94.7	—
5月末	17,060	△ 0.3	95,143	△ 0.3	94.6	—
6月末	17,768	3.8	100,074	4.9	96.7	—
7月末	18,608	8.7	106,471	11.6	94.8	—
8月末	18,372	7.4	107,085	12.2	96.0	—
9月末	18,724	9.4	111,261	16.6	97.9	—
10月末	19,434	13.6	118,009	23.7	96.4	—
(期末) 2025年11月28日	20,153	17.8	119,874	25.6	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 5. 29 ~ 2025. 11. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、堅調な雇用統計や米中通商協議の進展期待を背景に、上昇しました。2025年7月以降は、米国が各国に課す関税率について通商交渉が進展したことに加え、9月半ばに決定されたFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げなどが、株価の上昇を促しました。10月後半にかけては、成長期待が高まったAI（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、続伸しました。11月に入ると、政府機関の一部閉鎖や利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月後半には利下げ期待が再度高まったことを好感し、反発して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことや、米国の利下げ期待が後退したことなどから、円安となりました。その後2025年7月後半から9月にかけてはおおむねレンジ内での推移となりましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調

整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2025. 5. 29 ~ 2025. 11. 28)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

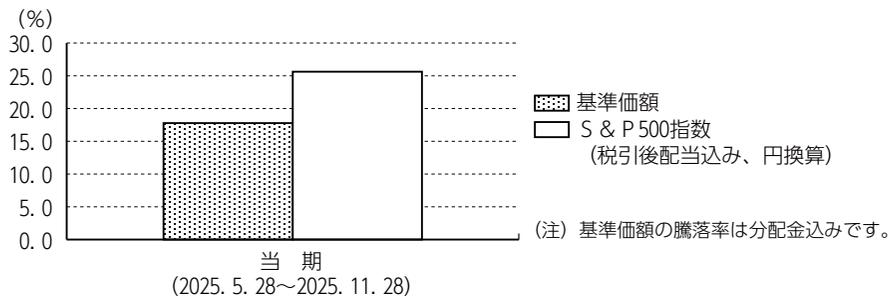
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2025年5月29日 ～2025年11月28日	
当期分配金(税込み)	(円)	150
対基準価額比率	(%)	0.74
当期の収益	(円)	150
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	10,003

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	83.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,145.63
(c) 収益調整金		6,488.40
(d) 分配準備積立金		2,436.07
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		10,153.26
(f) 分配金		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		10,003.26

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 5. 29~2025. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	177円	0. 959%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は18, 457円です。
(投 信 会 社)	(100)	(0. 543)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(72)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 009	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0. 009)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	4	0. 023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 017)	スピンオフに係る税金支払、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	183	0. 991	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

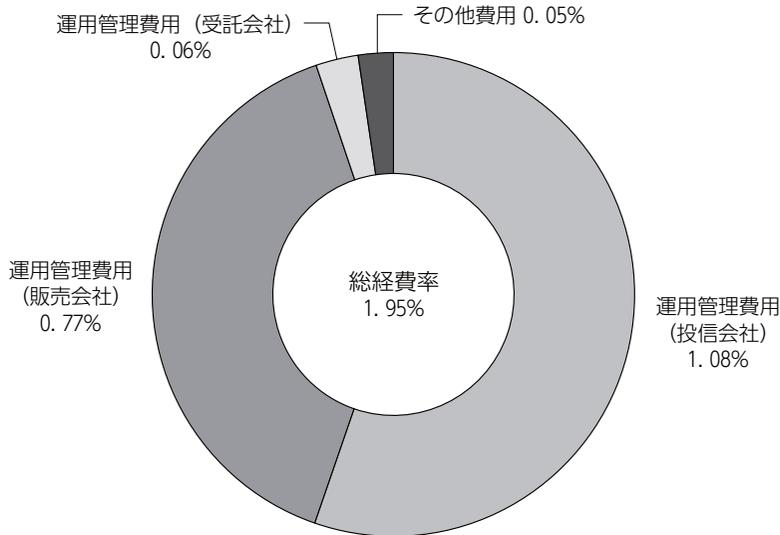
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	19,660	194,600	51,592	514,500

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,152,013千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,653,286千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.55

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	506,765	474,832	5,182,421

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	5,182,421	98.2
コール・ローン等、その他	93,503	1.8
投資信託財産総額	5,275,924	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=156.63円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,209,664千円)の投資信託財産総額(6,261,916千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,275,924,405円
コール・ローン等	48,503,299
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	5,182,421,106
未収入金	45,000,000
(B) 負債	87,733,573
未払収益分配金	38,905,075
未払解約金	1,757,219
未払信託報酬	46,935,730
その他未払費用	135,549
(C) 純資産総額 (A - B)	5,188,190,832
元本	2,593,671,717
次期繰越損益金	2,594,519,115
(D) 受益権総口数	2,593,671,717口
1万口当り基準価額 (C / D)	20,003円

* 期首における元本額は2,719,655,638円、当作成期間中における追加設定元本額は180,660,109円、同解約元本額は306,644,030円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,003円です。

■損益の状況

当期 自2025年5月29日 至2025年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	56,687円
受取利息	56,687
(B) 有価証券売買損益	816,805,312
売買益	851,959,581
売買損	△ 35,154,269
(C) 信託報酬等	△ 47,071,279
(D) 当期損益金 (A + B + C)	769,790,720
(E) 前期繰越損益金	180,755,299
(F) 追加信託差損益金	1,682,878,171
(配当等相当額)	(1,389,171,939)
(売買損益相当額)	(293,706,232)
(G) 合計 (D + E + F)	2,633,424,190
(H) 収益分配金	△ 38,905,075
次期繰越損益金 (G + H)	2,594,519,115
追加信託差損益金	1,682,878,171
(配当等相当額)	(1,389,171,939)
(売買損益相当額)	(293,706,232)
分配準備積立金	911,640,944

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 14,314,840円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,568,362円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	297,139,911
(c) 収益調整金	1,682,878,171
(d) 分配準備積立金	631,837,746
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,633,424,190
(f) 分配金	38,905,075
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,594,519,115
(h) 受益権総口数	2,593,671,717口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	150円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第27期 (決算日 2025年11月28日)

(作成対象期間 2025年5月29日～2025年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

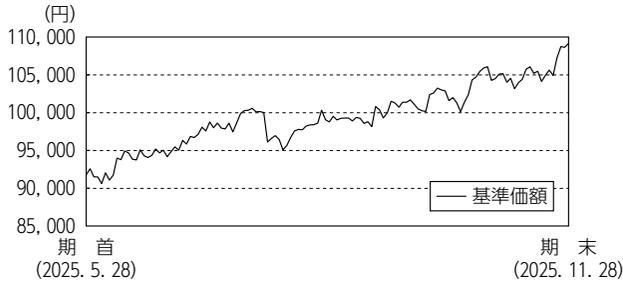
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		株式組入	株式先物
	円	%	騰落率	%	比率	比率
(期首) 2025年5月28日	91,772	—	95,418	—	94.8	—
5月末	91,506	△ 0.3	95,143	△ 0.3	94.7	—
6月末	95,465	4.0	100,074	4.9	96.7	—
7月末	100,138	9.1	106,471	11.6	94.9	—
8月末	99,027	7.9	107,085	12.2	96.0	—
9月末	101,090	10.2	111,261	16.6	97.9	—
10月末	105,090	14.5	118,009	23.7	96.4	—
(期末) 2025年11月28日	109,142	18.9	119,874	25.6	97.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数(税引後配当込み、円換算)は、S & P 500指数(税引後配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：91,772円 期末：109,142円 騰落率：18.9%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇(円安)したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。
米国株式市況は、当期中期首より、堅調な雇用統計や米中通商協議の進展期待を背景に、上昇しました。2025年7月以降は、米国が各国に課す関税率について通商交渉が進展したことに加え、9月半ばに決定されたFRB(米国連邦準備制度理事会)による利下げなどが、株価の上昇を促しました。10月後半にかけては、成長期待が高まったAI(人工知能)・半導体関連企業が相場上昇をけん引

し、続伸しました。11月に入ると、政府機関の一部閉鎖や利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月後半には利下げ期待が再度高まったことを好感し、反発して当期中期末を迎えました。

○ 為替相場

米ドルが為替相場は対円で上昇(円安)しました。

米ドル対円が為替相場は、当期中期首より、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことや、米国の利下げ期待が後退したことなどから、円安となりました。その後2025年7月後半から9月にかけてはおおむねレンジ内での推移となりましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。

◆ 前作期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資してまいります。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求してまいります。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当期中の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当期中の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資してまいります。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求してまいります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	9円 (9)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	21 (4) (17)
合 計	30

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	金 額	株 数	金 額
アメリカ	1,164.24 (20.46)	百株 千アメリカ・ドル 9,700 ()	百株 千アメリカ・ドル 1,047.4 11,284		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2025年5月29日から2025年11月28日まで)

銘 柄	当 期			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
SALESFORCE INC (アメリカ)	9.675	364,615	37,686	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	9.33	299,180	32,066
TARGA RESOURCES CORP (アメリカ)	6.025	151,042	25,069	CHARLES SCHWAB CORP (アメリカ)	14.525	195,685	13,472
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	30.775	128,765	4,184	PAYCOM SOFTWARE INC (アメリカ)	4.38	161,043	36,767
ICON PLC (アイルランド)	5.555	124,277	22,372	CONOCOPHILLIPS (アメリカ)	8.535	117,882	13,811
CHARLES RIVER LABORATORIES (アメリカ)	5.41	120,744	22,318	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	4.69	108,771	23,192
PAYCOM SOFTWARE INC (アメリカ)	4.095	103,121	25,182	PHILLIPS 66 (アメリカ)	4.985	104,780	21,019
MOLINA HEALTHCARE INC (アメリカ)	3.135	101,422	32,351	LIBERTY BROADBAND-C (アメリカ)	10.49	95,274	9,082
CENTENE CORP (アメリカ)	17.824	81,079	4,548	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP (アメリカ)	2.61	84,861	32,513
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN (アメリカ)	3.005	70,791	23,557	IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	2.585	82,619	31,961
LIBERTY BROADBAND-C (アメリカ)	3.585	48,892	13,638	AIRBNB INC-CLASS A (アメリカ)	3.43	63,903	18,630

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	104.45	127.75	1,996	312,728	金融	
BRUNSWICK CORP	147.45	138.45	921	144,359	一般消費・サービス	
CHARLES RIVER LABORATORIES	—	51.25	917	143,640	ヘルスケア	
CENTENE CORP	163.76	299.35	1,181	185,016	ヘルスケア	
DEERE & CO	34.38	26.65	1,252	196,132	資本財・サービス	
TARGA RESOURCES CORP	—	59.6	1,031	161,619	エネルギー	
MOLINA HEALTHCARE INC	14.35	43.25	641	100,482	ヘルスケア	
LITHIA MOTORS INC	41.75	39.2	1,248	195,610	一般消費・サービス	
FIRST CITIZENS BCSHS -CL A	13.13	13.4	2,532	396,649	金融	
ALPHABET INC-CL A	154.65	61.35	1,962	307,447	コミュニケーション・サービス	
PHILLIPS 66	173.45	123.6	1,668	261,275	エネルギー	
LIBERTY BROADBAND-C	69.05	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
CONOCOPHILLIPS	213.3	137.55	1,197	187,630	エネルギー	
PAYCOM SOFTWARE INC	78.15	75.3	1,210	189,674	資本財・サービス	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	10.13	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
AIRBNB INC-CLASS A	176.4	142.1	1,658	259,829	一般消費・サービス	
CBRE GROUP INC - A	132.55	85.65	1,389	217,610	不動産	
SALESFORCE INC	—	92.05	2,100	328,941	情報技術	
ICON PLC	—	52.4	962	150,729	ヘルスケア	
IQVIA HOLDINGS INC	139.2	113.35	2,627	411,537	ヘルスケア	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	49.05	55.3	1,776	278,237	金融	
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES	1,028	1,043.4	2,491	390,265	コミュニケーション・サービス	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	90.4	84.9	645	101,117	金融	
EQUIFAX INC	63.35	64.55	1,372	215,049	資本財・サービス	
KEURIG DR PEPPER INC	590.35	865.55	2,395	375,260	生活必需品	
CHARLES SCHWAB CORP	312.35	167.1	1,533	240,266	金融	
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	99.35	73.25	1,592	249,506	金融	
ファンド	株数・金額	3,899	4,036.3	38,310	6,000,622	
合計	銘柄数<比率>	23銘柄	25銘柄		<97.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	6,000,622 千円	95.8 %
コール・ローン等、その他	261,293	4.2
投資信託財産総額	6,261,916	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.63円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(6,209,664千円)の投資信託財産総額(6,261,916千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	6,339,774,071円
コール・ローン等	253,919,220
株式(評価額)	6,000,622,789
未収入金	77,857,460
未収配当金	7,374,602
(B) 負債	158,122,826
未払金	111,022,826
未払解約金	47,100,000
(C) 純資産総額(A-B)	6,181,651,245
元本	566,387,012
次期繰越損益金	5,615,264,233
(D) 受益権総口数	566,387,012口
1万口当り基準価額(C/D)	109,142円

* 期首における元本額は604,668,866円、当作成期間中における追加設定元本額は23,625,346円、同解約元本額は61,907,200円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり) 51,580,298円
ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイー Bコース (為替ヘッジなし) 474,832,888円
ダイワ米国厳選バリューストック株ファンド (ダイワSMA専用) 39,973,826円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は109,142円です。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■損益の状況

当期 自2025年5月29日 至2025年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	28,981,752円
受取配当金	28,046,357
受取利息	935,395
(B) 有価証券売買損益	988,485,333
売買益	1,412,681,043
売買損	△ 424,195,710
(C) その他費用	△ 1,235,139
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,016,231,946
(E) 前期繰越損益金	4,944,500,433
(F) 解約差損益金	△ 555,642,800
(G) 追加信託差損益金	210,174,654
(H) 合計 (D + E + F + G)	5,615,264,233
次期繰越損益金 (H)	5,615,264,233

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。